

## プログラム

### ○開会あいさつ 環境省

### ○第1部 基調講演

「地域社会の発展に向けて、排出事業者と処理業者が今できる連携・協働とは？」(仮)

【講師】北九州市立大学 大学院 マネジメント研究科 教授 松永 裕己氏

1969年、佐賀県生まれ。九州大学大学院博士後期課程単位取得退学。北九州市立大学講師(1998年～)を経て、現職。専門は環境ビジネス、ソーシャルビジネス。「環境」と「ビジネス」という対極にあるように見えるものを両立させ、相互に発展させていくための方策を研究。著作に『「エコタウン」が地域ブランドになる時代』(共著：新評論)など。

### ○第2部 優良事例プレゼンテーション

各会場において、排出事業者と産業廃棄物処理事業者との連携に係る優良事例を紹介いたします。

東京会場 排出事業者：アサヒ飲料株式会社

処理業者：株式会社エコ・フード

福岡会場 排出事業者：プライムデリカ株式会社

処理業者：株式会社大島産業

### ○第3部 ワークショップ

「地域社会の発展に向けて、排出事業者と処理業者が今できる連携・協働とは？」

日々の廃棄物処理業務の中で、問題に感じる排出事業者／処理業者の対応について、どのように対応するか、また排出事業者／処理業者はどうすべきだったかを検証し、信頼につながる連携のためのあるべき排出事業者像／処理業者像について意見交換を行います。

<プログラム>

- ・ 自己紹介・アイスブレイク (20分)
- ・ グループワーク (90分)
- ・ プレゼンテーション (各グループ3分程度)
- ・ フィードバック・「気付き」の共有 (10分)

※ワークショップは6つのグループに分かれて行い、進行はファシリテーターが担当します。

### ○講評

<注意事項>

- ・ カリキュラム・講師は変更となる可能性がございます。
- ・ 天候によって、開催を中止、または延期させていただく場合がございます。
- ・ 講義の録音、撮影はご遠慮ください。
- ・ メディアの取材・撮影が入る場合がございます。